作品目録

タイトルに*がついている作品はオンライン展示限定の作品です

氏名	学部	タイトル	作品種類	撮影日時	撮影地	シャッタースピード	F値	ISO感度	焦点距離	使用機材	過去作の場合、 いつ出展した作品か	説明文
神	理学部	羨望	デジタル	2019年秋	大町西公園	1/125s	f 2.5	ISO1600	55 mm	PENTAX K-1 + DA*55mm F1.4	1年次学祭展	
		見返り美人図*	デジタル	2020年秋	八木山動物公園	1/1000s	f 5.6	ISO 400	170 mm	PENTAX K-1 +DFA 70-210 F4	3年次六月展	
		夢幻	デジタル	2021年春	朝霧高原	1/500s	f 13	ISO100	70 mm	SONY α7III + SONY FE 24-70mm F4	3年次六月展	
		松島月景	デジタル	2021年9月21日	西行戻しの松公園	8.0s	f 8	ISO400	120 mm	SONY α7III + TAMRON 70-300mm F4.5-6.3	3年次学祭展	
		Crowded Isolation	モノクロフィルム	2022年11月	新宿					PENTAX LX + smc PENTAX-M 50mm F1.7 + ILFORD DELTA 400		
		Jail*	デジタル	2023年2月	六本木ヒルズスカイデッキ	1/25s	f 4	ISO 2000	55 mm	SONY α7III + SONY FE 55mm F1.8		
		2人の時間	デジタル			1/100	f 8	ISO100	35 mm	SONY α7III + SONY FE 35mm F2.8		
		The Red	デジタル	2020年～2023年2月にかけて	東京タワーが見えるところ						3年次三月展、4年次六月展	誰もが知るあの赤いタワー。あなたはどんなふうに撮りますか？
タケノコ	工学部	Self Introduction	デジタル									
		吹雪の先に	デジタル									
		逆転*										
		入場*	カラーフィルム									
		懐かしき仙台~ヨドバシカメラ１号館建設過程~	デジタル									
		イデア	デジタル									
		Hello, Goodbye	デジタル									
		きだゆきひこ	デジタル									きだゆきひこは鳥になりたかった きだゆきひこは人間である きだゆきひこは鳥にはなれない しかし、きだゆきひこは鳥になりたい 鳥になりたくてなりたくて仕方がない きだゆきひこは来る日も来る日も努力を続けた ある日、きだゆきひこが目を覚ますと 真っ白な翼が目に写った
ムネ	工学部	日を追いかけ西へ	デジタル									
		雨鳥	デジタル		伊根							
		魑魅魍魎マーチ	デジタル									
		初雪の朝	デジタル									
		大空港	モノクロフィルム		羽田空港							
		はじまりと残り香*	デジタル									大学入学前は旅客機しか取ってなかった。いつしか撮影スタイルは変遷し、面影がわずかに残るのみ。
		非日常の提案*	カラーフィルム		太平洋フェリー							
神、 タケノコ、 mune	理学部、 工学部、 工学部	北海道展 バイクと仲間と、時々カメラ	デジタル									全ライダーの憧れ、北海道 2021年夏、我々もライダーの端くれとして北海道を目指した。しかし、新型コロナウイルス 流行第5波の影響であえなく断念。だが我々は北海道への憧れを捨てなかった。 2022年夏、我々はついに北海道にたどり着いた。果てしない道、数々の絶景、セコマの感動、美味しいお魚…。 これは我々3人による、10日間北海道旅の記録である。
ずんだ	理学部	There used to be...	デジタル	2021/9/2	親不知レンガトンネル （旧北陸本線）	1月15日	4	ISO1000	50 mm	SONY α7R II + Vario-Tessar T* FE 24-70mm F4 ZA OSS	2021年度三月展	繁栄の足跡を辿って。
		Monochrome Syndrome	デジタル	2022/9/10	大阪府泉佐野市りんくう公園 りんくうJCT					SONY α7R II + Vario-Tessar T* FE 24-70mm F4 ZA OSS		
		観客	デジタル	2022/9/12	大阪市浪速区新世界	1月15日	8	ISO640	24mm	SONY α7R II + Vario-Tessar T* FE 24-70mm F4 ZA OSS	2022年度学祭展	勝負の行方やいかに。
ずんだ	理学部	喧騒を求めて	デジタル	2021/6/6	青葉区南町通	1/40	f 8	ISO6400	34 mm	SONY α7R II + Vario-Tessar T* FE 24-70mm F4 ZA OSS	2021年度3月展	コロナ禍になって1年半。気軽に飲みに出かけられるのは一体いつなのか。
		Pastel Colors*	デジタル	2022/4/10	錦町公園	1/160	f 8	ISO 100	39 mm	SONY α7R II + Vario-Tessar T* FE 24-70mm F4 ZA OSS	2022年度六月展	
		大内宿にて。	カラーフィルム	2022/9/21	大内宿					MINOLTA α-9 + AF ZOOM 28-135mm F4-4.5		心の故郷を求めて。

ずんだ	理学部	変わりゆく景色を見守り続けて	デジタル	2022/9/12	大阪市阿倍野区 天王寺駅前歩道橋	1/80	f 8	ISO100	66 mm	SONY α7R II + Vario-Tessar T* FE 24-70mm F4 ZA OSS		
		お写んぽ日和	デジタル	2022/5/24	仙台駅前，錦町公園，定禅寺通					SONY α7R II + FE 70-200mm F4 G OSS		何でもない日常も、ひとたびカメラを手に出かけてみると、また違って見えてくる。
よち	工学部	The Blue Sky	デジタル	2022年	長野県					EOS 80D		
		稲穂三変化	デジタル	2020年,2022年	長野県					EOS 80D, EOS 5D MarkIII		
		木曾路宿場町	デジタル	2022年	長野県					EOS 80D		
		夕暮れ	デジタル	2020年	長野県					EOS 80D		
		雪原の煌めき	デジタル	2022年	長野県					EOS 80D		
		Summer Express	デジタル	2019年	長野県					EOS 80D	2019年学祭展	
		銀世界	デジタル	2022年	長野県					EOS 80D		
		盛夏*	デジタル	2019年、2020年	長野県					EOS 80D		
イイジマ	理学部	国道駅高架下	モノクロフィルム	2019年	国道駅						2019年度6月展	写真部に入部して初めて作成したフィルム作品。 神奈川県川崎市にある国道駅の高架下は、昭和が色濃く残った廃墟然とした雰囲気で知られていたスポットで、私は当時こういった変な場所へ撮影に出かけるのに夢中になっていました。
		Factories	デジタル	2019年	神奈川県川崎市						2019年度二月展	京浜工業地帯において、念願の工場夜景に初めて挑戦した作品。 望遠レンズで切り抜いた複雑な配管、メタリックな質感、様々な色の照明の重なり合いなど、撮るのも見ているのも、工場夜景写真はとにかく楽しい。不思議なSF的世界に引き込んでくれる。 スマホでの撮影はは難しい工場夜景は、一眼レフの醍醐味といってもいい撮影対象だと思っている。 初めての挑戦だったので技術的には甘いかもしれないが、過去の作品のなかでも特に気に入っている作品。
		Time has passed...	デジタル	2020年8月	真鶴	1/125 秒	f 5.6	ISO 400	45 mm	Nikon D7500	2020年度学祭展（オンライン）	約50年前に廃止された鉄道トンネルに訪れたときのもの。 荒廃した景色は、時間が過ぎ去ったことを感じさせるだけではなく、同時に遠い未来の世界の暗示しているようでもあり、廃墟には日常の時間軸から切り放たれた特有の時間が流れていると感じることがある。
		夏を見上げる	カラーフィルム	2020年1月	横浜市の「こどもの国」			ISO400	50 mm	Nikon FM2	2021年度二月展	コロナウイルスの流行が一時的に弱まり、そろそろ外出してもよいのではという空気がでてきはじめた2021年の始め頃、横浜市の「こどもの国」という公園に、新しく手に入れたフィルムカメラを持って訪れた。 この作品はそのときに撮影したもの。これが、初めて展示会で展示したカラーフィルム作品となった。 カラーフィルム特有の、柔らかくどこか懐かしい質感を気に入り、カラーフィルムにはまっていくきっかけとなったマイルストーン的作品だったと個人的には感じている。
		砦*	砦	2020年1月	大船駅の誓う	1/5000 秒	f 6.3	ISO 1250	34 mm	Nikon D7500	2022年度六月展	旅行で街を歩いているとき、たまたま工事中のこの建物に出会った。ローマのコロッセウムを思わせるような荒々しい外見に圧倒されて思わずシャッターを切ってしまった。 調べてると、今ではショッピングモールの建物になっているらしい。建設中の建物、あるいは使われなくなって朽ちていった建築物というのは何か共通した不思議な魅力がある。どちらも建築物としては「正しくはない」いわば逸脱した状態であることに非日常性を感じるからだろうか。 工事中という短い貴重な状態の間に出会うことができてラッキーであった。
		夏の通り道	カラーフィルム	2020年10月	猪苗代			ISO 100	50 mm	Nikon FE	本展示会初出作品	B9で行った夏の猪苗代旅行。その最中に見つけた景色である。 四年生の夏休みは忙しかったのか、この猪苗代旅行のほかに夏らしいこともせずに過ぎていってしまった気がするのだが、運良くこのように夏を感じさせる写真を残すことができた。 見る人それぞれの心の中にある「夏」を思い起こさせるような、そんな作品になったと思う。
		坂の街を歩く	カラーフィルム	2021年2月	尾道				50 mm	Nikon FE	本展示会初出	一人で尾道を旅行した。良い街だというのはかねてから聞いていたが、海沿いのこぢんまりした穏やかな雰囲気をすっかり気に入ってしまった。坂を上り、角を曲がる度に現れる景色に夢中でシャッターを切った。 これは尾道のなかでもなかなか"渋い"一角だと思うが、個人的にはとても気に入っている景色だ。こういった、上りたくなる坂道、踏み入れたくなる細い路地に出会うことは旅の醍醐味だと思っている。
		枠	カラーフィルム	2022年9月	多摩川住宅				50 mm	Nikon FM2	本展示会初出	一時期、団地という被写体にハマっていた。昭和の時代にデザインされたものが多いためなのか、シンプルな設計のように見えて実は遊び心のある有機的なデザインの建築が多かったりして面白い。 この作品は、東京都のとある団地で撮ったもので、大きな長方形の枠から中の駐輪スペースをのぞき込むという単純だが面白い構図ができあがった。
T.T	工学部	白波をけたてて	デジタル		田沢湖						2019年学祭展	
		楽焼	デジタル		楽焼工芸同行会　窯前						2020年2月展	
		kayaking	デジタル		白川湖の水没林						2021年6月展	
		とんぺーのはにわたち	デジタル									
		通過儀礼	デジタル	成人式の翌日								大空へ飛び立つ者、飛び立てなかった者。
松田	文学部	白	デジタル									
		空	デジタル									
		旅懐	デジタル									
		明日*	デジタル									
		亡者	モノクロフィルム									